

平成 26 年 度

事 業 報 告 書

公益社団法人 千島齒舞諸島居住者連盟

# 事業報告書

平成 26 年度事業計画に基づき次のとおり事業を実施したので、その概要を報告する。

## 1 北方領土返還要求運動の推進

北方領土返還要求運動の推進を図るため、関係機関及び関係団体と連携し次の事業を行った。

### (1) 北方領土返還要求署名運動の推進

#### ア 署名活動の推進

北方領土の返還に向けた国民世論の結集を図るため、関係機関及び関係団体と連携し北方領土返還要求署名活動を行った。

#### ① 北方領土返還要求署名運動推進北海道連絡会議の開催

開催期日等 : 6 月 24 日(火) 札幌市 出席者 : 10 名

参加団体 : 公益社団法人日本青年会議所北海道地区協議会ほか 7 団体

#### ② 北方領土返還要求署名活動の実施

平成 26 年度署名者数	平成 26 年度末累積署名者数	摘 要
1, 065, 496	87, 028, 216	平成 26 年度関係機関・団体別署名収集数は巻末資料 1 参照

#### イ 国会請願及び政府・国会要請の実施

北方領土の早期返還の実現を期するため、収集した署名を添えて衆・参両議院に請願を行うとともに、政府及び国会に対し北方領土返還促進に関する要請を行う予定であったが、平成 26 年 11 月 21 日に衆議院が解散となったため中止となった。

### (2) 北方領土問題早期解決の要請

北方領土の早期一括返還、元居住者の権益保護、後継者の育成強化などについて政府及び国会等に要請を行った。

要請期日等	主 な 要 請 事 項	要 請 先	要 請 者
5 月 19 日(月) 根 室 市	○北方領土の早期一括返還 ○財産権の不行使に対する補償	衆議院沖縄及び北方問題 に関する特別委員会	両副理事長 専務理事 根室管内各支部長 根室管内各青年部長

10月18日(土) 根室市	○北方領土の早期一括返還 ○財産権の不行使に対する補償 ○元島民後継者の育成強化	山口内閣府特命担当大臣 (沖縄及び北方対策)	理事長 河田副理事長 専務理事 根室管内各支部長 根室管内各青年部長 根室支部副支部長 標津支部副支部長
11月22日(土) 根室市	○北方領土の早期一括返還 ○財産権の不行使に対する補償 ○北対協融資制度の充実 ○自由訪問時等における入出域 手続きの複数化	自由民主党北海道第七選 挙区支部根室市移動政調 会	河田副理事長
2月6日(金) 東京都	○北方領土問題の早期解決	林 外務省欧州局長 武藤外務省欧州局参事官 宇山外務省欧州局ロシア課長 山口内閣府特命担当大臣 阪本内閣府審議官	理事長 専務理事

### (3) 北方領土問題に関する研修

#### ア 北方領土問題セミナー

北方領土問題に対する理解を深めるため、理事、監事及び一般住民を対象とするセミナーを開催した。

開催期日等	内 容
4月23日(水) 札幌市 出席者 45名	①講演 演 題：「海から見た北方領土」 講 師：東海大学海洋学部教授 山田 吉彦 氏 ②質疑等

#### イ 北方領土問題地域学習会

北方領土問題への理解と認識を深めるため、各地域の元島民等や地域住民を対象に地域学習会を開催した。

主管支部	開催期日等	内 容
中標津支部 別海町支部	10月16日(木) 中 標 津 町 出席者 48名	①講演 演題：「“見えない壁”をどう越えるか」 講師：毎日新聞社報道部・根室 本間 浩昭 氏 ②元島民による語り部 中條 忠男 氏 (国後島)

根室支部	2月8日(日) 根室市 出席者 95名	①映画予告編 「ジョバンニの島」上映 ②元島民による語り部 得能 宏 氏 (色丹島) ③高校生による北方領土出前講座 ④地元国会議員へ高校生からのメッセージ 「聞いてください!!議員さん!!」 衆議院議員 伊東 良孝 氏 衆議院議員 鈴木 貴子 氏
------	---------------------------	--

#### ウ 島民組織代表者会議

元島民の立場から、北方領土問題の現状等や自由訪問事業等について協議検討し、相互の連携を深め北方領土問題への理解と協力を得るため、代表者会議を開催した。

開催期日等	議 題
10月9日(木) 根室市 出席者 21名	①平成26年度における主要事業の実施(予定)状況について ②平成26年度自由訪問事業の実施状況について ③平成26年度北方領土墓参の実施状況について ④平成26年度北方四島交流の実施状況(訪問該当分)について ⑤平成27年度自由訪問事業等の実施箇所検討資料(案)について ⑥北方領土関連資料保存整備事業について ⑦会費未納会員に係る取組について

#### エ 指導者養成研修会

北方領土問題について一般国民の理解と協力を得ることを推進するため、各支部の役員等を対象に返還運動のあり方、当連盟の実施事業等について検討協議する研修会を開催した。

開催期日等	内 容
5月27日(火) 札幌市 出席者 27名	①北方領土返還要求運動の推進 ②北方領土返還の啓発 ③後継者の育成 ④組織基盤の強化

#### (4) 北方領土関連資料の収集・保存

元島民等が所有する北方領土関連資料を収集・保存するとともに、北方四島における昔と今を写真で比較したDVDを収納した冊子「移りゆく北方四島(歯舞群島・択捉島)」を作成した。

また、北方四島の“戦前の白黒写真”と“現在のカラー写真”を使い、昔と今を比較したパネル展示を各地で開催した。

#### (5) 地域活動の推進

それぞれの地域で実施している北方領土返還要求運動推進事業を支援するため、千島連盟各支部へ活動交付金を交付し、また、青年部を設置している支部には、後継者による返還要求運動を推進するための活動交付金を交付し、支部における地域活動を推進した。

## (6) 北方領土返還要求運動各種大会等への参画

関係機関及び関係団体が実施する北方領土返還要求運動に参画した。

行 事 名 等	行 事 名 等
8 月 3 日 北方領土返還要求根室市民大会（根室市）	1 月 24 日 第 29 回“北方領土を考える”高校生弁論大会（札幌市）
8 月 17 日 第 33 回北方領土ノサップ岬マラソン大会（根室市）	2 月 5 日 第 66 回さっぽろ雪まつり
8 月 22 日 2014 北方領土返還要求北海道・東北国民大会（札幌市）	～11 日 北方領土返還要求署名活動（札幌市）
8 月 31 日 第 10 回北方領土まで歩こう会（根室市）	2 月 6 日 平成 27 年「北方領土の日」祈念大阪府民大会（大阪市）
9 月 14 日 連合「2014 平和行動 in 根室」（根室市）	2 月 7 日 平成 27 年北方領土返還要求全国大会（東京都）
11 月 27 日 第 33 回北方領土返還要求山形県民大会（鶴岡市）	2 月 7 日 2015 北方領土フェスティバル（札幌市）
12 月 1 日 北方領土返還要求行進中央アピール行動・街頭啓発（東京都）	2 月 7 日 2015「北方領土の日」根室管内住民大会（根室市）

## 2 北方領土問題に関する啓発

北方領土返還要求運動を啓発するため次の事業を行った。

### (1) 啓発活動の推進

#### ア 各種啓発事業の実施

地域住民等に、北方領土問題への理解と関心を深めてもらうための啓発活動として、千島連盟の各支部を中心とした地域において、啓発資料の作成、「語り部」等による講演会、パネル展示、イベント会場等での署名活動など、各種啓発事業を行った。

#### イ 啓発推進員の配置

地域住民等の北方領土問題への理解と協力を得るため、函館、オホーツク、釧路、別海町、中標津、標津、羅臼及び富山の 8 支部に「啓発推進員」を配置し、啓発活動や元島民及び後継者の返還要求運動への参加促進を図った。

### (2) 広報紙の発行

返還要求運動や啓発事業、情報提供を行うため、「返せわれらが故郷」（231 号、232 号、233 号）を各 4,200 部発行し、会員及び関係機関・関係団体等のほか、希望する一般住民へ配布した。

### (3) 「北方領土の語り部」事業

#### ア 語り部の育成

元島民後継者が元島民の思いを語り継ぐ「語り部」の重要性を認識し、その役割を担うよう育成するため講習会を行うとともに、学生や地域住民を対象に発表会を行った。

対象支部	開催期日等	出席者	語り部
オホーツク支部	11月8日(土) 網走市	元島民等 26名 一般参加者 20名	元島民：鈴木 咲子 氏 (択捉島) 後継者：渡辺 彰 氏 (択捉島2世)
道央支部 道北支部	11月22日(土) 札幌市	元島民等 22名	元島民：高塚 正勝 氏 (水晶島) 後継者：倉賀野 弘行 氏 (多楽島2世)

## イ 語り部事業の実施

元島民が北方領土への望郷の思いや四島での貴重な体験などを語り伝え、北方領土問題や北方領土返還要求運動に対する国民意識の高揚を図るため、関係機関及び関係団体と連携し、「語り部」事業を道内・外で実施した。

区分	開催期日等	共催	出席者	語り部
道内	11月6日(木) 札幌市	北海道	藤女子大学学生： 25名	元島民： 小田島 梶子 氏 (色丹島)
	11月25日(火) 芽室町		芽室町立上美生中学校 生徒等：21名	元島民： 安田 愛子 氏 (択捉島)
道外	7月25日(金) 山口県 萩市	全国地域婦人団体連絡協議会 山口県萩市連合婦人会	一般参加者：150名	元島民： 児玉 泰子 氏 (志発島)
	11月5日(水) 群馬県 前橋市	全国地域婦人団体連絡協議会 群馬県地域婦人団体連合会	一般参加者：55名	元島民： 高岡 唯一 氏 (多楽島)

## ウ 語り部の派遣

北方領土問題への関心と北方領土返還要求運動に対する意識の高揚を図るため、「北方領土の語り部」として登録されている元島民や後継者を関係機関及び関係団体等が実施する研修会、学習会等に派遣した。

〈派遣状況〉

派遣事業名 (主催)	派遣数	派遣事業名 (主催)	派遣数
北方四島交流事業研修会 (道推進委・北対協)	13名	えとぴりか巡回研修会 (北対協)	5名
各都府県民大会 (各都府県民会議)	3名	北方領土青少年等現地視察支援事業 (各県民会議)	16名
元島民の北方領土を語る会 (北方同盟)	8名	北方領土の語り部 (北対協)	12名
北方領土の語り部 (北海道)	12名	その他	31名
		合計	100名

### 3 北方地域元居住者等の援護対策の推進

元居住者の援護対策の推進を図るため、次の事業を行った。

#### (1) 援護問題対策事業

##### ア 援護問題等専門委員会

元居住者等の援護問題について幅広く研究討議を行うため、援護問題等専門委員会を開催するとともに、国及び国会議員等への要請を行った。

##### ① 援護問題等専門委員会の開催

開催期日等	協議事項及び協議結果
第1回 12月4日(木) 札幌市 出席者 7名	〈協議事項〉 ・財産権の不行使に対する補償 〈主な意見等〉 ・語り部の要請団体から旅費や謝金を貰っているが、連盟事業ではなぜ謝金が出ないのか。仕事を休んで活動に参加しており、活動の対価として支払うのは当然ではないのか。 ・北方四島交流で後継者の日程が、平日や月初め・月末になると現役の後継者は休みが取りづらく、休めないのが実態であることから参加者が利用しやすい日程にして欲しい。 ・財産権補償の対象の元島民が減少しており、補償問題を議論しても、国は補償の話しに応じない。補償として個人配分が駄目であれば、地域振興に切り替わっても仕方ない。
第2回 3月5日(木) 札幌市 出席者 7名	〈協議事項〉 ・財産権の不行使に対する補償 ・自由訪問への参加者の枠組み及び同行者枠の拡大 ・援護委員会における研究討議の結果に係る意見具申書の提出文案 ・後継者の「北方領土の語り部」を伝承者としての位置づけ 〈主な意見等〉 ・現行のままであれば、元島民や2世が参加しないと3世の参加機会が奪われてしまう。北方領土の返還運動には4世も参加しており、その4世が参加できないのはおかしい。 ・北方地域旧漁業権では、北方地域旧漁業権補償推進委員会で補償要求額を算出して要望した経緯があるが、補償が出来ないのなら、地域振興の補助金に振り替わっても良い。 ・後継者の「北方領土の語り部」を伝承者として位置づけしてはどうか。 ・意見具申で自由訪問の枠組み及び「北方領土の語り部」を伝承者の位置づけを検討する。

② 国及び国会議員等への要請活動

要請期日等	主な要請事項	要請先	要請者
3月13日(金) 東京都	○財産権の不行使に対する補償 ○北対協融資制度の充実	内閣府北方対策本部参事官 衆議院沖縄及び北方問題に関する特別委員会委員長、理事ほか	委員長 委員1名 専務理事

イ 援護対策相談事業

北方領土問題に関連する諸問題の一つである元居住者等の戸籍、在島残置財産、北対協融資制度等の援護問題について、相談・助言を行った。

① 戸籍、在島残置財産相続に係る指導、助言

元居住者等の戸籍、在島残置財産である土地、建物の相続申出手続き等について指導、助言を行った。

② 北対協融資制度利用に関する相談、助言

元居住者等の援護措置として設けられている北対協融資制度の利用に関し、相談、助言を行った。

③ その他援護問題に関する指導、助言

元島民の援護対策の推進を図るため、役職員等が各支部を訪問し、元居住者に係る援護問題の現状等を把握するとともに、解決に向けての指導や助言を行った。

訪問日	訪問先	訪問日	訪問先
4月5日(土)	標津支部	4月20日(日)	根室支部
4月5日(土)	オホーツク支部	4月26日(土)	釧路支部
4月13日(日)	函館支部	5月17日(土)	道北支部
4月18日(金)	中標津支部	5月17日(土)	富山支部
4月19日(土)	別海町支部	2月7日(土)	関東支部
4月19日(土)	羅臼支部	3月8日(日)	厚岸支部
4月20日(日)	道央支部	3月15日(日)	浜中支部
4月20日(日)	十勝支部		

## (2) 北方四島への自由訪問の実施

人道的見地及び北方領土問題解決のための環境整備の一環として、元島民とその家族による北方四島への自由訪問事業を次のとおり実施した。

区分	訪 問 地	期 間	参加者数	使用船舶	備 考
第1回	国後島 ラシコマンベツ 植内 植沖	5. 16 ～ 5. 19	元島民等 (35) 子の配偶者等 (0) 同 行 者 (11) 計 (46)	えとぴりか	荒天のため、根室港出港できず中止
第2回	勇留島 トコマ	6. 23 ～ 6. 25	元 島 民 32 子の配偶者等 5 同 行 者 11 計 48	えとぴりか	
第3回	択捉島 シヤスリ 薬取	7. 4 ～ 7. 7	元島民等 48 子の配偶者等 5 同 行 者 11 計 64	えとぴりか	
第4回	多楽島 ヒラリウス フルベツ	7. 18 ～ 7. 21	元島民等 48 子の配偶者等 5 同 行 者 10 計 63	えとぴりか	
第5回	志発島 西浦泊	8. 6 ～ 8. 8	元島民等 39 子の配偶者等 8 同 行 者 11 計 58	えとぴりか	
第6回	国後島 泊	8. 22 ～ 8. 25	元島民等 45 子の配偶者等 3 同 行 者 11 計 59	えとぴりか	
第7回	国後島 ニキシロ 瀬石 古釜布 近布内	9. 5 ～ 9. 8	元島民等 43 子の配偶者等 8 同 行 者 11 計 62	えとぴりか	
計	5島11箇所		元島民等 255 子の配偶者等 34 同 行 者 65 計 354		

### (3) 北方領土墓参事業

人道的見地から北海道が実施している北方領土墓参について、北海道からの委託事業として、団員選考等の業務を行うほか、当連盟事業として訪問墓地での慰霊、法要を行った。

区分	墓参地	期間	参加者数	使用船舶	備考
第1班	国後島 東沸 水晶島 ボッキゼンベ 秋勇留島 オタモイ	8. 1 ～ 8. 4	遺族 46 同行者 14 計 60	えとぴりか	
第2班	色丹島 相見崎 稲茂尻	8. 11 ～ 8. 13	遺族 (32) 同行者 (14) 計 (46)	えとぴりか	荒天のため、根室港を出港できず中止
計	3島3箇所		遺族 46 同行者 14 計 60		

### (4) 北方四島交流事業（ビザなし訪問）

北方領土問題解決に向けた環境づくりのため、「北方四島交流北海道推進委員会」及び「北方領土問題対策協会」が実施する北方四島交流事業（訪問）に次のとおり参加した。

実施主体	期間	参加者数		訪問先	使用船舶	備考
			うち 元島民等			
道推進委	5. 24～5. 26	65	15	国後島	えとぴりか	荒天のため出港1日遅れ  後継者・教育関係者・青少年
	6. 6～6. 9	63	16	色丹島		
	8. 29～9. 1	64	18	国後島・択捉島		
	9. 12～9. 15	60	1	国後島		
小計	4回	252	50	—		—
北対協	6. 26～6. 30	64	6	国後島・択捉島	えとぴりか	北連協主体の船 大阪府民会議主体の船 教育関係者・青少年 後継者
	7. 24～7. 28	65	6	国後島・択捉島		
	8. 15～8. 18	64	1	国後島		
	9. 19～9. 22	59	4	色丹島		
小計	4回	252	17	—	—	
合計	8回	504	67	—	—	

※各船に元島民の「北方領土の語り部」1名含む

## 4 後継者の育成

今後の返還運動の担い手となるべき後継者の育成を図るため、次の事業を行った。

### (1) 後継者活動の推進

#### ア 後継者活動委員会

元島民後継者の活動を促進し、後継者の育成を図るため、後継者事業全般について協議検討を行う委員会を開催した。

開催期日等	内 容
5月25日(日)	①委員長・副委員長の互選について ②後継者活動委員会運営要綱について ③北方領土返還要求後継者街頭啓発事業について ④その他

#### イ 後継者街頭啓発

後継者対策の強化及び国民の北方領土問題に対する理解と認識を深め、国民世論の高揚を図ることを目的として、次の事業を行った。

開催期日等	イ ベ ン ト 名
1月17日(土)～18日(日) 札幌市 後継者等 33名	「学ぼう!!北方領土2015」 ～未来を担う後継者(若者)からのメッセージ～

#### ウ 後継者の派遣研修

北方領土問題に対する視野を広め、地域活動のリーダーを育成するため、後継者の派遣研修を行った。

派遣日	派遣先	派遣者
12月1日(月)	北方領土返還要求行進中央アピール行動・街頭啓発(東京都)	後継者5名
2月7日(土)	平成27年北方領土返還要求全国大会(東京都)	後継者5名

### (2) 後継者研修事業

#### ア 後継者活動促進全国セミナー

今後の北方領土返還要求運動の担い手となる元島民後継者や若い世代の一般市民を対象に、北方領土問題への理解と認識を深めるためのセミナーを開催するとともに、元島民後継者間の連携強化及び後継者活動の促進を図るため、意見交換を行った。

開催期日等	内 容
10月4日(土) ～5日(日) 札幌市 出席者 34名	①講演 演題：「変わるモスクワ、変わらぬロシア—どうなる北方領土問題」 講師：北海道新聞社東京支社報道センター部 次長 西田 浩雅 氏 ②モスクワ派遣報告 ③北方領土返還運動関連団体について ④意見交換

### イ 後継者研修会

今後の北方領土返還要求運動の担い手となる元島民後継者が、北方領土問題及び北方領土返還要求運動の推進等について協議・検討するとともに、さっぽろ雪まつり会場で署名活動を行った。

開催期日等	内 容
2月10日(火) ～11日(水) 札幌市 出席者 54名	①DVD放映「北方領土返還のために ～高校生がつなぐ元島民69年前の記憶～」 政府インターネットテレビ ②元島民による語り部 安田 愛子 氏 (択捉島) ③パネルディスカッション ④署名啓発活動 (さっぽろ雪まつり会場)

### ウ 北方領土問題現地青年の集い

北方領土問題への認識を深めるため、北方領土の隣接地域において、元島民後継者が企画した研修会を開催した。

開催期日等	内 容
5月17日(土) 標津町 出席者 49名	①元島民による語り部 福澤 英雄 氏 (多楽島) ②講演 演題：「北方領土交渉 経緯から探る今後の行方」 講師：北海道新聞社編集局報道センター 本田 良一 氏

### (3) 後継者キャラバン事業

各支部の後継者によるキャラバン隊を編成し、訪問地における当該自治体首長等へのアピール及び署名活動等を通して、北方領土問題の啓発と後継者活動の活性化を図るとともに、「北方領土返還要求北海道・東北国民大会」において北方領土返還運動に取り組む強い決意を表明した。

実施期間等	訪 問 先
8月22日(金)～25日(月) 隊員数 22名	宮城県仙台市

#### (4) 北方領土青少年洋上セミナー

若い世代の北方領土問題への理解と意識向上を図るため、一般の青少年を対象に、語り部や洋上視察等を通して北方領土問題について学習する洋上セミナーを元島民後継者が企画し開催した。

開催期日等	参加者	内容
7月27日(日) 羅臼町	元島民後継者 24名 北海道内在住の一般青少年等 94名	①学習会「北方領土のお話」 羅臼小学校長 横澤 英三 氏 ②高校生による学習会 ③洋上視察 (航路：羅臼港～知床岬～羅臼港)

### 5 千島会館の運営

北方領土問題に関する啓発・研修及び元居住者等の援護・組織活動の拠点施設として千島会館の供用を図るとともに、千島会館利活用運営検討会を開催した。

〈千島会館の利用状況〉

【利用回数】 148回

【利用人数】 延べ 2,031名

### 6 医療支援促進事業の実施

外務省との委託契約に基づき、我が国政府が、平和条約締結交渉のための環境整備に資することを目的として実施している北方四島人道支援事業（患者受入事業、医師・看護師等研修事業等）について、北方四島の医療事情及び北方四島の患者等を受け入れている国内医療機関等の状況並びに北方四島住民に対する中・長期的な医療支援という観点から、同事業の枠内で北方四島との遠隔医療について、その可能性を調査の上、医療支援事業に関する提言を含む報告書を外務省に提出した。

### 7 組織基盤の強化

連盟における組織基盤の強化と地域活動の推進を図るため、次の事業を行った。

#### (1) 北方領土返還要求運動推進功労者等の表彰

ア 内閣府特命担当大臣（沖縄及び北方対策担当）による表彰

多年にわたり北方領土返還運動に尽力し、顕著な功績のあった者が表彰された。

【受賞者】

・池田英造（根室支部） ・高塚正勝（道北支部） ・福澤英雄（標津支部）

## イ 千島連盟理事長による表彰

北方領土返還運動の推進、連盟の組織強化及び事業の推進に顕著な功績のあった者に対する表彰を行った。

### 【受賞者】

- ・大塚 以和雄 (道央支部)
- ・大柳 英一郎 (道央支部)
- ・宝 金 仁三郎 (函館支部)
- ・住吉 照子 (道北支部)
- ・武田 勝三 (林ノヲ支部)
- ・橋爪 蓉子 (林ノヲ支部)
- ・小野 春雄 (釧路支部)
- ・高橋 榮子 (釧路支部)
- ・坂本 定雄 (厚岸支部)
- ・富沢 陽子 (厚岸支部)
- ・中田 美恵 (浜中支部)
- ・青木 悦雄 (根室支部)
- ・柴田 チヤ (根室支部)
- ・鹿川 登 (根室支部)
- ・柴田 正 (標津支部)
- ・四十物 忠晴 (羅臼支部)
- ・廣瀬 多喜子 (関東支部)
- ・四十物 トシエ (富山支部)
- ・木野本 定夫 (富山支部)
- ・木野本 ヤエ子 (富山支部)

## (2) 会員加入の促進

連盟組織の維持向上を図るため、各支部及び「島民の会」との連携の下に未加入となっている元居住者及び後継者に対し会員への加入促進を行った。

【平成26年度新規加入者数】 119名 (元島民14名、後継者105名)  
(会員数の状況は巻末資料2参照)

## (3) 通常総会等の開催

業務の適切かつ円滑な運営を図るため、通常総会及び理事会等を開催した。

### ア 通常総会

開催期日等	議 題
5月26日(月) 札幌市 出席者 102名 委任状及び議決権行使書提出者 1,902名 計 2,004名	①平成25年度事業報告に関する件 ②平成26年度事業計画及び平成26年度収支予算に関する件 ③平成25年度収支決算に関する件

### イ 理事会

開催期日等	議 題
第1回 4月24日(木) 札幌市 出席者 22名	①平成26年度通常総会の招集について ②平成25年度事業報告について ③平成25年度収支決算について ④平成26年度通常総会の進行次第(案)について ⑤平成26年度通常総会の提出議案(議案書)について ⑥宣言(案)及び決議(案)について ⑦理事長、副理事長及び専務理事の職務の執行状況報告について ⑧千島連盟理事長表彰について ⑨平成26年度監事監査計画について

第 2 回 2月25日(水) 札幌市 出席者 20名	①理事長、副理事長及び専務理事の職務の執行状況報告に関する件 ②平成27年度事業計画(案)に関する件 ③平成27年度収支予算(案)に関する件 ④公益社団法人千島歯舞諸島居住者連盟会費規程の一部改正(案)に関する件 ⑤公益社団法人千島歯舞諸島居住者連盟主たる事務所移転に関する件
-------------------------------------	--

## ウ 監事監査

実施期日等	実施監事	監 査 対 象
第 1 回 4月21日(月) 千島会館	金田 慎吾 角鹿 泰司	平成25年度千島会館の業務執行及び財産並びに会計の状況
第 2 回 4月22日(火) 連盟事務局	金田 慎吾 角鹿 泰司	平成25年度千島連盟(千島会館を除く)の業務執行及び財産並びに会計の状況

## エ 企画運営委員会

開催期日等	議 題
第 1 回 7月28日(月) 札幌市 出席者 7名	①自由訪問、北方領土墓参、ビザなし訪問について ②平成26年度「北方領土の語り部」登録者について ③平成26年度「北方領土の語り部」事業について ④内閣府特命担当大臣表彰について ⑤北方領土関連資料保存整備事業について ⑥広報紙編集委員会所管事項について ⑦北方四島の2万5千分の1地形図整備に伴う位置情報の変更について
第2回 12月10日(水) 札幌市 出席者 7名	①要請・請願等の状況について ②平成27年度予算要求の概要について ③公益社団法人千島歯舞諸島居住者連盟会費規程の一部改正について ④会費未納会員に係る取組について ⑤北方領土関連資料情報発信事業企画委員会所管事項について ⑥平成27年度自由訪問事業計画(案)について ⑦事務所の移転について
第3回 3月10日(火) 札幌市 出席者 6名	①平成27年度事業計画書の修正について ②理事長表彰について ③関係委員会運営要綱の一部改正(案)について ア 企画運営委員会運営要綱の一部改正について イ 広報紙編集委員会運営要綱の一部改正について ウ 北方領土関連資料情報発信事業企画委員会運営要綱の一部改正について ④広報紙編集委員会所管事項について ⑤当面の課題等について

〈資料1〉

## 平成26年度 関係機関・団体別署名収集数

自 平成26年4月 1日  
至 平成27年3月31日

団 体 名	署 名 収 集 数
全国自衛隊父兄会	234,247
長野県民会議	154,817
宮城県民会議	118,002
北海道	87,154
北方領土復帰期成同盟	71,647
千島歯舞諸島居住者連盟	54,249
愛知県民会議	47,109
群馬県民会議	44,449
和歌山県民会議	42,306
石川県民会議	26,799
山形県民会議	26,210
愛媛県民会議	25,990
上記以外の県民会議	51,811
その他	80,706
合 計	1,065,496

※本表は署名数の多い主な団体を掲載

〈資料2〉

平成26年度 会員数

(平成27年3月31日現在)

支部名	元島民数 27.3.31現在	平成26年 度正会員 数	左 の 内 訳				賛助会員数		会員合計	
			新規会員数		継続会員数		団体	個人		
			元島民	後継者	元島民	後継者				
道 央	969 ( 52 )	570 ( 14 )	6 ( 1 )	22	314 ( 13 )	228	0	32	602 ( 14 )	
函 館	254 ( 11 )	99 ( 1 )	0 ( 0 )	0	66 ( 1 )	33	0	1	100 ( 1 )	
道 北	208 ( 4 )	98 ( 1 )	1 ( 1 )	1	55 ( 0 )	41	0	0	98 ( 1 )	
杓ノツ	292 ( 6 )	172 ( 2 )	1 ( 0 )	8	91 ( 2 )	72	0	3	175 ( 2 )	
十 勝	199 ( 7 )	85 ( 2 )	0 ( 0 )	1	57 ( 2 )	27	0	0	85 ( 2 )	
釧 路	848 ( 45 )	218 ( 9 )	2 ( 2 )	4	149 ( 7 )	63	0	1	219 ( 9 )	
厚 岸	63 ( 1 )	63 ( 0 )	0 ( 0 )	2	36 ( 0 )	25	0	0	63 ( 0 )	
浜 中	53 ( 5 )	56 ( 3 )	0 ( 0 )	0	34 ( 3 )	22	0	1	57 ( 3 )	
根 室	1,341 ( 60 )	712 ( 8 )	2 ( 1 )	18	390 ( 7 )	302	4	19	735 ( 8 )	
別海町	132 ( 8 )	180 ( 3 )	0 ( 0 )	5	73 ( 3 )	102	2	1	183 ( 3 )	
中標津	122 ( 7 )	151 ( 2 )	0 ( 0 )	0	66 ( 2 )	85	4	15	170 ( 2 )	
標 津	78 ( 5 )	100 ( 2 )	0 ( 0 )	2	39 ( 2 )	59	0	2	102 ( 2 )	
羅 白	111 ( 7 )	112 ( 3 )	0 ( 0 )	4	36 ( 3 )	72	2	0	114 ( 3 )	
関 東	724 ( 63 )	459 ( 9 )	2 ( 1 )	21	208 ( 8 )	228	0	5	464 ( 9 )	
富 山	506 ( 5 )	385 ( 2 )	0 ( 0 )	8	207 ( 2 )	170	1	7	393 ( 2 )	
支 部 以 外	道内	309 ( 11 )	119 ( 3 )	0 ( 0 )	3	75 ( 3 )	41	1	10	130 ( 3 )
	道外	565 ( 33 )	301 ( 10 )	0 ( 0 )	6	160 ( 10 )	135	0	11	312 ( 10 )
合 計	6,774 ( 330 )	3,880 ( 74 )	14 ( 6 )	105	2,056 ( 68 )	1,705	14	108	4,002 ( 74 )	

※元島民数及び正会員数の( )は、平成20年4月1日施行の旧漁業権者法の一部改正に伴う  
新元居住者の内数